



Title	外国人留学生のための就職対策講座 : 2011年度及び2012年度の経験から
Author(s)	Castro, Juan Jose; 金, 雪梅
Citation	多文化社会と留学生交流 : 大阪大学国際教育交流センター研究論集. 2013, 17, p. 73-77
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/50673
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

外国人留学生のための就職対策講座

－ 2011年度及び2012年度の経験から －

Juan Jose CASTRO*・金 雪梅**

要 旨

外国人留学生の視点を取り入れながら今後どのように就職支援を進めていくことが望ましいかを2年間の就職対策講座の経験から報告としてまとめてみた。日本式就職活動に対する不安や迷いを留学生に特化した形の支援で補い、日本人学生と同等の就職活動につなげてあげることが重要である。

【キーワード】外国人留学生、就職支援、就職対策講座

1 はじめに

外国人留学生（以下、留学生）の中でも、正規留学生の場合その多くは日本企業への就職を希望している。日本で少なくとも5年から10年位は働きたいと考える留学生が一般的であると言われている。留学生の出身国や地域が日本企業の事業展開と一致する場合、外国人としてのハンディよりもむしろその文化的背景を含む個性が企業により高く評価される可能性が高い。

しかしながら一方で、留学生にとって母国での常識が日本での常識にならないこともある。特に就職活動（以下、就活）に関しては、入学後半年余りで、卒業論文のテーマも決まらないうちに、自己分析、業界業種選び、自己アピールと言われても戸惑う留学生も少なくない。中でも日本文化や言語に馴染みが薄い国や地域から来日した留学生の場合、日本語力レベルの高低にかかわらず「就活習慣」が大きく違う場合も考慮されなければならない。

そこで、2011年度及び2012年度に渡り、留学生のための就職対策講座を開催した。通常の学内外の就職対策講座やセミナーと内容を大きく変えることなく、しかしながら留学生のニーズに応えるような内容を加

えた対策講座をキャリアアドバイザーや元留学生OB・OGの就活体験談などを交え行なった。この2年間の経験の報告と今後への提案をここで述べていきたい。

2 2011年度就職対策講座

2-1 概要

留学生に特化した就職対策講座をこの年の5月から開始した。春学期第一回目は夏季休暇中に留学生がインターンシップを体験できるようにとの目的から民間派遣会社より講師を招き「インターンシップ講座」が開催された。参加者は31名であった。第二回目は就活に関する「元留学生体験談セミナー」を民間製造業会社のグローバル採用部門より講師を招き行われた。

秋学期の第一回目は「英語による就職セミナー」と題し、就活全体の流れを日本語能力に自信の無い留学生でも参加しやすいような形式で行った。参加者は27名であった。第二回目以降は「就職対策講座」として自己分析、企業研究、提出書類、面接対策、ビジネスマナーなど日本人学生向けの就活講座と内容は変わらないが、留学生の日本語能力を考慮した“ゆっくりとしたペースで”進められた。

* 大阪大学国際教育交流センター特任准教授

** 大阪大学大学院法学研究科博士後期課程

いずれも外部講師を財団法人大阪労働協会より招き行われた。さらに「元留学生 OB・OG による就活体験セミナー」「企業セミナー」が 3 回に分けて行われた。参加者はのべ 45 名であった。

以上の他に「就職相談コーナー」を週 2 回の予約制で行った。学内のキャリアアドバイザーにつなぐ前段階としての相談や通常の就活スケジュールに乗り遅れた留学生に好評を得た。

2-2 留学生の意見と改善点

インターンシップに関しては特に文系の学生がその情報を求めていることが目立った。理系の学生に比べて文系の学生は広く業界を選べる点と、専攻内容と就職先業界との関係が柔軟であるためであると思われる。

日本におけるビジネスマナーやビジネス日本語をもっと学びたいという要望は強く、現在行われている講座の拡大や充実、また留学生が参加しやすい時間帯が工夫されることが望ましい。

留学生の中には日本企業にこだわらず、外資系企業への就職も視野に入れ、それらを特に区別せずに考えている者も少なくない。彼らは就活のスケジュールやアプローチの仕方が異なる外資系企業への就活支援と求人情報を大学側からも期待している。日本企業の新卒採用以外の就活に関する情報提供の検討が今後必要であると思われた。

3 2012 年度の就職対策講座

3-1 概要

2012 年の秋学期には前年度の経験を踏まえ、毎週決まった曜日と時間に全体で 15 回のシリーズとして「留学生のための就職対策講座」を開催した。予めスケジュールを固定化する事により、留学生自身も計画的に参加でき、また内容も充実させることができた。講座は外部講師、学内のキャリアカウンセラー、元留学生 OB・OG（国際同窓会）、内定者留学生、企業の人事担当者等の協力のもと以下の 3 つのモジュールに分けて行われた（詳細は別表 1 参照）。

モジュール 1 は就職対策の基礎知識を外部講師の

協力のもと行われた。モジュール 2 は元留学生 OB・OG や内定者による就活状況やと現職体験談を盛り込んだ。モジュール 3 では企業の人事担当者を招き留学生採用に関するお話をうかがった。

3-2 本講座についての参加留学生の意見

参加留学生の内から任意でアンケート記入協力を依頼し、講座についての感想を求めた。

図 1 は講座の内容について、回答者 60 人中 76% が“とてもよかった”、または“よかった”と答えており高い評価を得た。

本講座を何で知ったかについては、その多くが大学のホームページまたは KOAN と答えている。一方で友人からの口コミも多く掲示板で見たと答えた者の 1.5～2 倍ほどであった（図 2）。

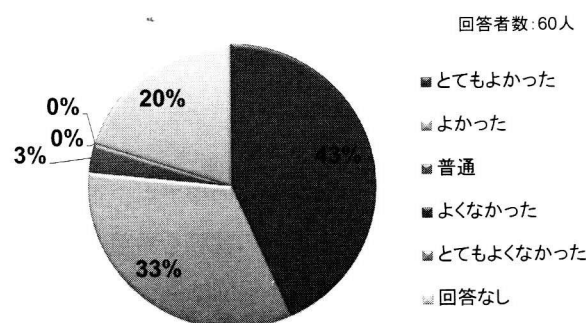


図 1 内容について

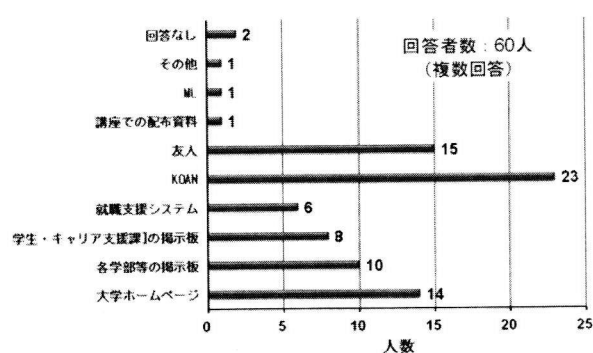


図 2 本講座を何で知ったか

図 3 では本講座への参加理由を質問した。53%は内容に興味があるからという回答であった。前述のようにあらかじめ 15 回全体の内容と曜日・時間を示したことにより、前年度よりも留学生が参加しやすかつ

た事を表している。毎回随時、ポスターやメールで知らせるよりも、このような企画方法はより効果的な就職支援になると思われる。

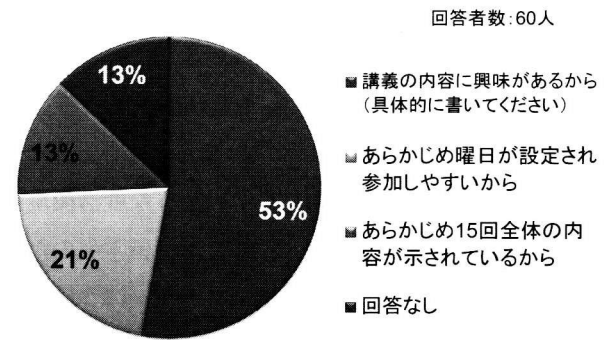


図3 参加理由

4 2012 年度の参加留学生のデータ

4-1 参加者数、学年、国・地域別、性別、所属別、卒業後の進路

図4は各回の参加者数を示す。全15回の内比較的前半の方が参加者は多かった。講座前半は就活の準備に関する内容が集められており、後半は経験談や企業セミナーであったために、各自の興味により参加率にバラツキが見られたようであった。

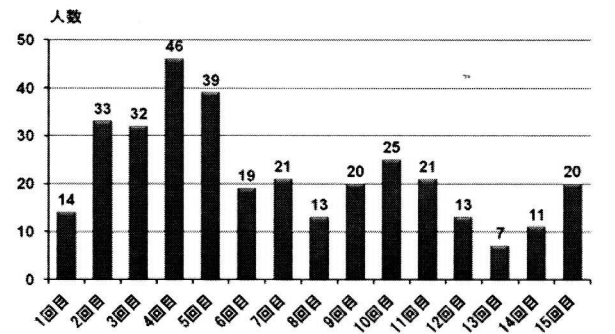
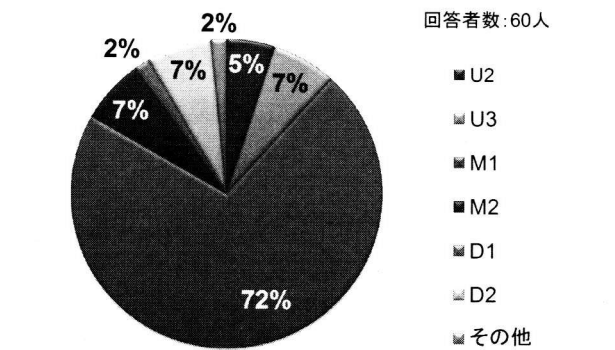


図4 各回の参加者

図5は参加者の学年を示している。72%が博士前期課程1年生、次に学部3回生、博士前期課程2年生、博士後期課程2年生でそれぞれ7%であった。図6は留学生の所属別を示している。

出身国・地域別では多い順に中国が33人、ベトナム4人であった。その他のアジア諸国からは10名、

欧州3名、中南米3名、アフリカ1名であった。男女別では男性が53%とやや多かった。



注 U: 学部、M: 博士前期課程、D: 博士後期課程

図5 学年別

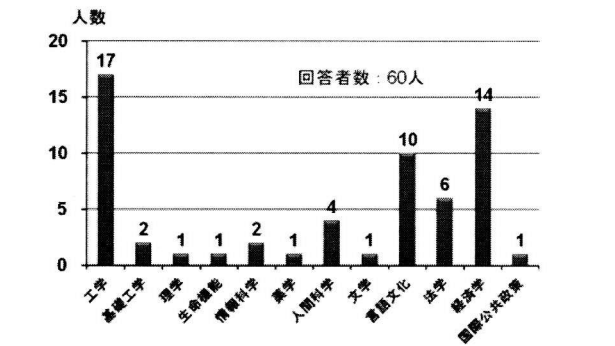


図6 所属別

卒業後の希望進路は図7に示した。本講座は日本企業に就職を希望する者を中心に想定しているが、母国の企業や第三国の企業に就職を希望する者もそれぞれ10%及び3%参加していた。

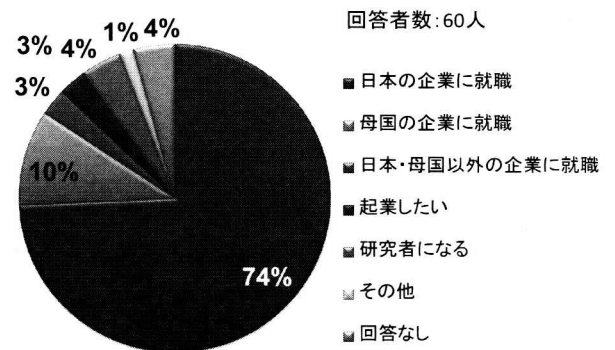


図7 希望進路

4-2 希望業界、業種

図8では希望業界を棒グラフで示した。希望者が多かったのは、生保・金融、化粧品・医薬品、商社であった。

図9では希望職種を示した。営業職、製品開発、研究職、技術職を希望する者が多かった。

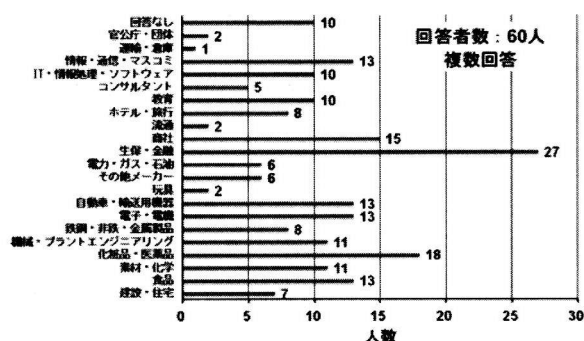


図8 希望業界



図9 希望職種

4-3 就活への不安

図10では、就活に関して留学生がどんなことを不安に思っているかについての結果を表している。エントリーシートを書き方・面接が一番多く、次に日本語能力と就活の仕方全般に不安がある様子が見られた。

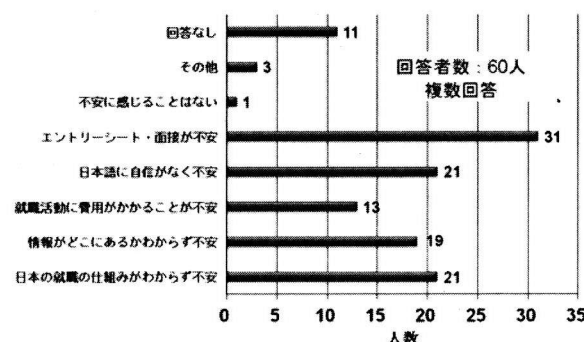


図10 就活への不安

5 今後への提案

第一に留学生の場合、日本語能力が高いと見なされている者でも、やはり就活となると日本人学生がライバルであるためか、日本語や日本式就活に対する不安が想像以上に強いようである。このことは2年間の経験を通して感じてきたことである。そこで、留学生が気後れすることなく参加しやすいような就活環境を整えることが重要だと考える。例えば「留学生のための」という題名を就活講座や相談コーナーにつけると安心感を与えられるようである。

第二に、元留学生OB・OGセミナーは1回にまとめる方が良いと思われる。その理由は、毎回似たような内容にならないように配慮するためである。

第三に、企業セミナーは業界を細かく分けずに、10社程度まとめて行う方がよいと思われる。このことにより学生は幅広い業界や業種を比較しながら情報を得やすくなり、選択の幅が広がりやすい。特に文系学生にとっては就職先業界の選択肢を増やすことが就活成功への大切なポイントであると思われる。

第四に、「Web テスト対策」を就職対策講座に取り込んで欲しいとの要望が多かった。この点については是非とも次年度に取り入れることが望まれる。

第五に「就活落ちこぼれ対策」をあげたいと思う。日本での就職希望者で「新卒採用のスケジュール」に乗り遅れた留学生を早めに把握する仕組みを検討すべきだろう。例えば当センターの留学生就職支援担当者は、各部署の就活担当職員や教員と連携をとることが望ましいと考える。一方で、まずはそのような就活落ちこぼれ留学生を作らないことが先決である。そのためには入学後、早い段階からの「就活スケジュールの周知」の仕組みを作る。入学時オリエンテーションの一部に組み込む等の工夫が期待される。

第六に、学内で日本語教室を開催している国際交流ボランティア団体方々の協力を得て、「留学生の就活お手伝い」を依頼することがあげられる。ボランティアの方々の中には現在は引退しているが、これまでに民間企業に於いて豊富な就労経験のある方も多い。例えば予め学内のキャリアカウンセラーの研修を受けて

頂き、統一性を持たせながら、留学生の就活書類作成の助けをお願いすることを一つのアイデアとして提案したい。

謝辞

就職対策講座の開催にご協力いただいた講師の方々、

大阪大学国際同窓会 OB・OG の方々、大阪大学 学生部 学生・キャリア支援課、工学研究科 留学生相談部、ご指導頂いた先生方、その他関係者の皆様のご協力に感謝いたします。またこの報告を掲載するにあたり、最後まで励まして頂いた難波先生に深く感謝いたします。

別表 1 講座のプログラム

<p>平成24年度外国人留学生のための就職対策講座</p> <p>概要：日本企業へ新卒採用を目指すために必要な知識を習得するための講座です。具体的には日本のビジネス文化、自己分析、情報収集、面接対策などの講義を行うとともに先輩達の経験談セミナーや各種業界からの企業セミナーを行います。</p> <p>到達目標：外国人留学生が自己実現のために将来のキャリアデザインも考慮しながら、日本における就職活動を円滑に進めるための能力を養成します。</p> <p>[Program]</p>					
回 Seminar	月日 - 場所 Date-Place	言語 Language	講義項目 Subject	講義担当者 Instructor	概要 Summary
1	10月3日（水）真面 ⁽¹⁾	日本語	就職活動について	学生・キャリア支援課	大阪大学 学生部 学生・キャリア支援課のプログラムによる
	10月4日（木）豊中 ⁽²⁾	日本語			
	10月15日（月）吹田 ⁽³⁾	日本語			
	October 16 th (Tue.) Suita ⁽⁴⁾	English	Introduction to Job Search for Int. Students	Mr. Kokichi NAKAGAWA (Career Adviser)	In this seminar the students will learn about the Japanese style of employment and the job searching process in Japan. Also job application writing and interview skills will be explained.
2	10月23日（火）豊中 ⁽⁵⁾	日本語	日本で就職すること	中川 浩一 氏 (キャリアアドバイザー)	日本企業から内定を得るためには、まず企業の文化を知ることが大切です。日本企業が採用において何を重視するのかについて学びます。更に「日本的経営」と呼ばれる企業文化を教えます。
3	10月30日（火）吹田 ⁽⁴⁾	日本語	情報収集 企業・業界研究	中川 浩一 氏 (キャリアアドバイザー)	外国人を採用する意思のある会社の効率の良い探し方と、情報源を紹介します。さらに、日本経済の仕組みを確認しながら、日本の代表的な業界、企業研究の方法を教えます。
4	11月13日（火）豊中 ⁽⁵⁾	日本語	自己分析 キャリアデザイン	岩崎 飛鳥 氏 (キャリアアドバイザー)	就職活動において、なぜ自己分析をしていくのが重要だといわれているのか、どのように自己分析をしていけば、より企業に自分をアピールしていけるかを学びます。
5	11月20日（火）豊中 ⁽⁵⁾	日本語	OB・OG・内定者による セミナー（外資系企業）	大阪大学国際同窓会	阪大の留学生だった先輩方、内定者から就職活動や企業で働く経験についてのお話が聞けます。
6	11月27日（火）吹田 ⁽⁴⁾	日本語	OB・OG・内定者による セミナー（日本企業）	大阪大学国際同窓会	阪大の留学生だった先輩方、内定者から就職活動や企業で働く経験についてのお話が聞けます。
7	12月4日（火）吹田 ⁽⁴⁾	日本語	企業セミナー	企業人事採用担当	3社以上の企業から説明があり、その後個別面談の機会を設けます。
8	12月11日（火）吹田 ⁽⁴⁾	日本語	OB・OG・内定者による セミナー（日本企業）	大阪大学国際同窓会	阪大の留学生だった先輩方、内定者から就職活動や企業で働く経験についてのお話が聞けます。
9	12月18日（火）豊中 ⁽⁵⁾	日本語	企業セミナー	企業人事採用担当	3社以上の企業から説明があり、その後個別面談の機会を設けます。
10	1月15日（火）吹田 ⁽⁴⁾	日本語	企業セミナー	企業人事採用担当	3社以上の企業から説明があり、その後個別面談の機会を設けます。
11	1月22日（火）豊中 ⁽⁵⁾	日本語	提出書類対策	岩崎 飛鳥 氏 (キャリアアドバイザー)	企業が応募書類のどのようなポイントを評価しているのかを知り、どのように応募書類を書けば、企業に自分の能力やスキルを効果的にアピールしていけるかを学びます。
12	1月29日（火）吹田 ⁽⁴⁾	日本語	社会人として行動能力	木谷 さつき 氏 (ビジネスマナーインストラクター)	社会人として、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力を、社会人基礎力と呼んでいます。企業が求める社会人基礎力とはどのようなものなのかを学び、理解を深めます。
13	2月12日（火）豊中 ⁽⁵⁾	日本語	日本のビジネスマナー	木谷 さつき 氏 (ビジネスマナーインストラクター)	仕事や人間関係を円滑に進めるために重要な役割を果たすビジネスマナー。なぜ必要なのか、どのようなものなのかを理解し、立ち居振る舞いを中心にロールプレイング形式で学びます。
14	2月19日（火）吹田 ⁽⁴⁾	日本語	面接対策 そのI (グループ面接)	野村 文子 氏 (キャリアアドバイザー)	模擬面接を経験・練習することで、自分の魅力を相手に的確に伝えられるように学びます。
15	2月26日（火）豊中 ⁽⁷⁾	日本語	面接対策 そのII (個人面接)	新居田 久美子 氏 (キャリアアドバイザー)	
<p>■時間 Time : 17 : 00～19 : 00</p> <p>■場所 Place : ⁽¹⁾研究・講義棟 A棟 A215、⁽²⁾全学教育推進機構大講義室、⁽³⁾コンベンションセンター研修室、⁽⁴⁾ICホール2階講義室5・6 ⁽⁵⁾全学教育推進機構 講義B棟B108、⁽⁶⁾大学会館 2階 セミナー室1-2、⁽⁷⁾ スチューデントcommons 2階 セミナー室1</p> <p>⁽¹⁾ Building A A215, ⁽²⁾ Center for Education in Liberal Arts and Science Lecture Hall, ⁽³⁾ Convention Center Training Room, ⁽⁴⁾ IC Hall 2F, Rooms 5&6, ⁽⁵⁾ Center for Education in Liberal Arts and Science, B Building B108, ⁽⁶⁾ University Hall Seminar Room 1-2, ⁽⁷⁾ Student Commons 2F Seminar Room 1</p> <p>■修了証明書 Certificate of Attendance : 本講座に10回以上出席した者には国際教育交流センター長より「修了証」を授与する。 Those who attend more than 10 seminars will be provided with a “Certificate of Attendance” by Director of CIEE</p>					